

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2022 年 10 月 7 日作成 第 1.0 版

研究課題名	横浜市立大学附属市民総合医療センターにおける脳波検査の実態と緊急報告の有用性を検討する観察研究
研究の対象	2015 年 4 月から 2023 年 3 月の間に、横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床検査部で脳波検査を施行したすべての患者さんを対象とします。
研究の目的	検体検査の領域では、血液検査結果などで放置しておくことと患者さんに重大な影響を及ぼすような異常値を認めた場合、パニック値や重要異常値として主治医に緊急報告を行います。ところが、脳波検査では、学会等でもパニック値または緊急報告値が明示されているわけではありません。そこで、当院臨床検査部生理検査室では、臨床側との検討により、脳波検査における主治医への緊急報告波形を定めました。当検査室で定めた脳波検査における緊急報告波形設定後の脳波検査の実態を調査し、緊急報告症例を解析することで、緊急報告の有用性を検討することが本研究の目的となります。
研究の方法	脳波検査件数および緊急報告件数を集計、解析します。また、緊急報告症例の背景や脳波検査結果、確定診断、治療および治療後の経過を解析します。
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の項目	【試料】本研究では試料をえません。 【情報】診療録から以下の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none">・背景情報：年齢、性別、既往歴、合併症、病歴・画像検査：脳波検査・治療内容：投与薬剤、手術・治療経過と予後
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管理	検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の管理 について責任を 有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床検査部 海老名俊明
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間を含みます。本研究では、利益相反はありません。
研究組織(利用する 者の範囲)	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床検査部(研究責任者)海老名俊明

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床検査部 海老名俊明

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5749